



**RNNニュースレター**

# そよがぜ

爽やかな風を世界の人々に

発行所  
国際貢献トピア岡山構想を推進する会内  
**人道援助宗教委員会**  
委員長：西村美智雄  
広報担当：永宗幸信  
事務局  
〒701-1212 岡山市尾上神道山2770  
TEL / FAX 086-284-1242  
アドレス <http://www.rnn.jp/>  
RNN事務局長：黒住宗道



## 4・25 平和行進・祈りの集い

4月25日、イラク戦争犠牲者の追悼と戦争によらない世界平和の実現を願つて「世界連邦岡山県宗教者の会」（会長＝貫名日諦・法華宗本門流本蓮寺住職）とRNNの共催により、平和行進と岡山カトリック教会での「祈りの集い」を開催しました。

平和行進は午後2時から岡山県仏教会、岡山県神社庁、キリスト教、黒住教、立正佼成会、大本、金光教、最上稲荷教の8団体や関係団体などから約300人が参集し、「イラクに和平を！」と書かれた横断幕や教団名のプラカードを掲げて岡山県庁から岡山カトリック教会までの約2キロを歩き世界平和を訴えました。

岡山カトリック教会での「祈りの集い」では、冒頭に貫名会長が「罪の無い多くの人々が犠牲になり心が痛む。いかなる理由があつても戦争は許されない。世界人類が本当に心豊かに暮らせる地球を求めていきたい」と挨拶。

次いで宇都宮憲爾同会委員長が「私たち岡山県の宗教者は、それぞれの教団、宗派を超えて結集し、犠牲者を追悼し、戦争によらない世界平和実現のために共に祈ります」との共同声明文を披露し、採択されました。

平和の祈りでは、「聖園（みその）子どもの家」の小学生2人による献灯に続いて、8団体の代表が登壇。教会の鐘が打ち鳴らされるなか、参集者全員で默祷し、祈りを捧げました。

閉会にあたり後藤主任司祭（RNN副委員長）が「イラクの人々のために祈り続けましょう」との日本ムスリム協会の樋口美作名誉会長から寄せられましたメツセージを紹介しました。

## 世 加 与 小

岡山県ト宗教者による平和行進と祈りの集い。その模様が本紙に掲載されている。神・仏・基さらにはイスラム教者からメッセージが届けられるなど、文字通り宗派間の理解が深まっている。

## 【岡山県宗教者平和行進・祈りの集い 共同声明文】

イラク戦争犠牲者への追悼と  
戦争によらない世界平和の実現のために

私たち、岡山県の宗教者は21世紀こそ、世界平和と安全が実現される時代となるよう、祈りを込め、それぞれの信仰に基づく世界平和に向けた運動を進めて来ました。

しかしながら、一昨年9月11日に世界を驚愕させた米国同時多発テロは、そうした私たちの願いを碎き、再び中東に戦禍と惨害をもたらす結果となったことは、まことに残念であり、痛恨に耐えません。

このたびにイラク戦争は、国際社会の願いを退け、異質な他者を認めない極めて傲岸な所業であると言わねばなりません。そして、このことを認めるることは人類が過去において辿ってきた、力による世界支配の構図を呼び起し、いっそ危険な方向に導くことを銘記しなければなりません。

人類が求めているのは、戦争のない世界の実現です。いかなる理由であれ、戦争は選択すべき手段ではありません。力の支配に替えて法の支配する世界とするために、あくまで国際社会の合意と協調によって問題が解決されていくことが、世界の求めるあり方であり、21世紀に生きる私たち人類が採るべき方法です。

私たち、岡山の宗教者は、それぞれの教団、宗派を超えてここに結集し、イラク戦争によって犠牲になられた方々への追悼と、戦争によらない世界平和の実現のために共に祈ります。

戦争のない世界と、違いを超えて、共に生きる人類でありますように。

2003年4月25日

世界連邦岡山県宗教者の会  
人道援助宗教NGOネットワーク



行進の先頭には「イラクに和平を！」とのプラカードが掲げられた



共同声明文を読み上げる宇都宮理事長



約300人の大行進となった



樋口氏からのメッセージ（要約）

皆様に神のご加護のあらんことをお祈りいたします。

このたび、RNNの皆様が、イラク戦争に心を痛めておられることを、私共イスラムを信じる立場の者として、共感を覚えます。

不幸にして、今回の戦争で兵士及び一般の方々、多数が犠牲になってしまいました。非常に悲しむべきことだと思います。

今後、この問題がどう進展し、被害を受けた人たちがどのように救われていくか、まだ先の見えない現状でありますけれども、このとき、私たちに何が出来るのかということは、信仰に生きる私たち一人ひとりにとって、大切なことだと思います。

行動には、直接的に、あるいは間接的にいろいろあろうかと思いますけれども、ひとつ申し上げたいことは、行動の原点は祈りではないかと思います。日常生活のなかで祈る。祈りを忘れた信仰はあり得ないと思います。

私たちが神に祈ることによって、神が逆境に生きる人たちにメッセージを取り次いで、癒しを与えてくださる。また、「戦争は人の心から起こる暴挙」であると言われているように、人の心が変わらなければ良くもならない訳で、祈りこそ、人の心に神が導きを与える大切な行動の原点であろうと信じております。お互いにイラクの人たちのために祈り続けたいものと思います。

2003年4月14日

## 日本ムスリム協会・樋口美作名誉会長との懇談

4月14日、西村委員長は、樋口美作名誉会長を日本ムスリム協会に訪ね、このたびのイラク戦争と現地支援のことなどについて懇談しました。

本会加盟の金光教平和活動センター（KPAC）では、現地市民への直接的支援を模索しており、日

本ムスリム協会を通じて現地ルートの協働方を要請しました。なお、樋口氏からは、さきの岡山県宗教者平和行進・祈りの集いに際してメッセージが寄せられ、同集いの閉会あいさつの中紹介されました。

支援態勢が可能になれば、宗教者による独自の取り組みとして意義深いものとなり、今後の協働方を要請しました。

なお、樋口氏からは、さきの岡山県宗教者平和行進・祈りの集いに際してメッセージが寄せられ、同集いの閉会あいさつの中紹介されました。



満堂となった岡山カトリック教会聖堂

挨拶する貫名会長

## 第23回世界連邦岡山県宗教者大会 =共に生きる世界実現をめざして= 7/4 於：金光町民会館



4月25日の「平和行進・祈りの集い」に続いて、7月4日には、本大会が、今年の大会幹事団体である「第23回世界連邦岡山県宗教者大会」が、今年の大会幹事団体である金光教主催により、浅口郡金光町占見の金光町民会館にて開催されました。

第1部の祭典の後、第2部として実行委員長の挨拶、物故功労者への黙祷、貫名日誦会長の挨拶、鈴木重大会長（教務総長）の挨拶、来賓（岡山県知事・金光町長・山陽新聞社社長）代表の挨拶が行われました。さらに記念講演では、荒木美智雄筑波大名誉教授が「共に生きる世界実現のための宗教の役割」との演題で講演されました。

最後に大会宣言文が発表され、満場の拍手で採択されました。

閉会にあたり、次回引受教団の岡山県仏教会の代表が挨拶し、滞りなく閉会となりました。

である金光教主催により、浅口郡金光町占見の金光町民会館にて開催されました。



は岡山平  
野を見晴  
るかし、  
遠く小豆  
島から瀬  
戸内海を  
眺める吉  
備の中山

神道山

従来黒住教の本部は教祖のご誕生の地であり、立教の所である岡山市大元（現在、宗忠神社があります）でしたが、周辺の都市化の波をのがれ、莊厳なお日の出を求めて神道山に新しい靈地が築かれました。（昭和49年）



大教殿



動く参道の東南に位置する、約10万坪（33万平方メートル）の丘陵地です。吉備の中山は、古代の大和、出雲両文化に並ぶ吉備文化の中心地であり、太古より神山としてあがめられてきた神域です。中央に吉備津彦命のご陵をはじめ、西北に吉備津神社、東北に吉備津彦神社が鎮座し、まさに神奈備山（かなびやま）です。

また、神道山では、浄化処理後の使用済み生活用水を大地に戻す「神道山水サイクル」を実施するとともに、苗木の植樹につとめ、太古の森づくりを目指しています。

なお、RNN事務局は黒住教本部内に置かれています。

動く参道

## ☆ 2月5日～12日 永宗副委員長がインド・パンチャヤティ小学校を視察 ☆



新しい教室での授業風景



小学校の前で記念撮影する視察団一行



タジマハールホテルの前で記念撮影

永宗副委員長は、去る2月5日から12日まで、天台宗の一隅を照らす運動総本部派遣の「インド交流視察団」に参加しました。

インドでは2001年のインド西部地震の際、RNNの在インドメンバーとして現地のパンチャヤティ小学校再建の音頭を取つて下さったサンガラトナ師（PMSパンチャヤッタ協会会長）の幼稚園や子供の家などを視察し、サンガラトナ師の

### 予供たちにペンをプレゼント

「禅定林」の周年式典法要に参列するとともに、「被災地のグジャラート州に私たちRNNと金光教平和活動センター（KPAC）とPMSで建てたパンチャヤティ小学校を視察し、子供たちにRNNからのプレゼントのペンを届けて頂きました。同行された永宗副委員長の愛娘、美智さんの撮影した写真で、小学校の授業風景など現地の様子を紹介させて頂きます。



教室内は明るく、有意義に使用されていた



RNN-KPACからの支援物資の贈呈



今なおガレキのままの被災地の一部地域

**WCRP日本青年部会発足30周年記念式典  
黒住事務局長が講演 6月21日 於:立正佼成会京都会館**



黒住事務局長は、WCRPの要請を受け、6月21日午後1時より立正佼成会京都教会にて「21世紀の日本の宗教青年に期待すること」と題した講演（約1時間）を行いました。英國留学時代（1986から88まで）に参加したWCRPヨーロッパ委員会主催による「平和バス旅行」（一台のバスに8名の宗教青年が2週間かけた巡礼）

活動しながらお互い理解を深め、平和を希求する活動の尊さ、重要性、また、これからの時代を担う青年への期待を込めた体験的・具体的な内容の講演となりました。中でも、「トビアの会」というローカルの一般市民によるボランティア活動と同列の接点・連携を持つ私たちRNNの活動の意義を説くと共に、活動の概略が紹介されました。本式典にはRNN海外メンバーで来日中のサンガラトナ師（天台宗）も参加されました。

**ESFアジアNGOネットワーク会議  
—ユネスコ未来教育センターの設置に向けて—**

ESFアジアNGOネットワーク会議は、昨年8月から9月にかけて行われたヨハネスブルグ・サミットで小泉首相が提案し、国連総会で採択された「持続可能な開発のための10年」の基幹事業の一つで、ユネスコ本部（パリ）の主導によって2005年から向こう10年間に世界の子ども達に対する「持続可能な教育のための10年」という国際教育支援プログラムです。

ユネスコ本部では、かねて岡山における国際協力の実績を評価してきましたところから、岡山ユネスコ協会を窓口に同センター誘致に向けた話し合いが進められました。これが実現すれば、首都圏以外の

今後の予定としては、8月28日に第2回の合同打合せが金光町で行われ、RNN正副委員長及び事務

**「RNN募金活動状況」**

- ①スリランカ医療和平プロジェクト支援募金 20000円 (2003/3/1通知、〆切4月末日)
- ②中国新疆ウイグル地区西部地震被災者支援募金 20000円 (2003/3/14通知、〆切4月末日)
- ③イラク難民支援募金 79090円 (2003/3/22通知)
- ④ケニア洪水災害に対する緊急救援活動支援募金：----- (5月16日通知)
- ⑤アルジェリア地震被害に対する緊急救援活動支援 15000円 (5月25日通知)

義援金、協賛金等送金用郵便振替口座  
加入者名=RNN  
01310・9・63933

**訂正とお詫び**

「そよかぜNo8」のRNNインフォメーション欄の「バハイ」に関する記述が間違っていました。イスラームとバハイは同一の宗教・宗派ではありません。関係者の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びし、謹んで訂正させて頂きます。（そよかぜ編集局）

**KPAC イラク攻撃に關わる緊急集会を開催 3.29 / 4.3 / 4.6**



金光教平和活動センター（KPAC）では、3月29日、4月3、6日の各日、「イラク攻撃に関する緊急集会」を金光教本部総合庁舎にて開催しました。

はじめに、RNN委員長でもある、KPAC西村専務理事から「このたびのイラク攻撃は国際的ルールを無視した暴挙であり、戦闘の即時停止と、国際の平和と安寧にて開催しました。

コメントーターからは、「戦争は国家権力による最大の暴力」、

「この戦争はあらゆる生命と存在の意味を根底から取り直している」、「われわれは戦争によって脅かされる人々の痛みへの想像力を持たなければならぬ」、「宗教者としてのアクションを起こしていくなければならない」、「力なき者の祈りと連帯が無力感を超えた力となる」などのコメントがあり、会場からは、単に米国だけを批判するのではなく、われわれが引き受けいく問題として考えていくべきではないか。もっと多くの情報交換の機会を作っていくことが大切だ。などといった発言がありました。

**RNN活動協賛者名**

※下記の名称は、協賛者が寺院、教会、団体、個人等の場合でも所属教団、宗派名のみを掲載させて頂きました。

イスラーム

臨済宗

立正佼成会

プロテстанント

天理教

天台宗

創価学会

真言宗

最上稻荷教

金光教

黒住教

カトリック